

国際ロータリー 2021-2022 年度

【国際ロータリーのテーマ】

“SERVE TO CHANGE LIVES”

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度の国際ロータリーとロータリー財団の年次目標

優先事項 1 「より大きなインパクトをもたらす」の目標

1. ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調する。
2. 年次基金とポリオプラスへの寄付を増やしつつ、2025年までに恒久基金を20億2500万ドルまで成長させる
3. 以下の項目における測定可能なインパクトを向上させ、効果的にコミュニケーションする：
 - a. クラブによる奉仕プロジェクト
 - b. 地区補助金、グローバル補助金、大規模プログラム、ポリオプラス、ロータリー平和センター
4. 人道的プロジェクトの世界的な実績を向上させるため、政府機関との機会も含め、新たなパートナーシップを築く。
5. より大きなインパクトをもたらすため、プログラムを通じた活動に焦点を当てる。

優先事項 2 「参加者の基盤を広げる」の目標

6. 以下の方法で、ロータリーの会員数を130万人に増やす：
 - a. 既存クラブへの新会員ならびにより多様な会員の入会を促すための行動喚起として、「Each One, Bring One(みんなが一人を入会させよう)」を強調する。
 - b. 新クラブと革新的なクラブおよび参加者の参加経路を作り出すことにより、参加者の増加と多様化を図る。
 - c. 理事、地域リーダー、地区会員増強委員長間の協力とアカウンタビリティを高める。
7. ソーシャルメディアにさらなる焦点を当てることを含め、ロータリーのブランドとイメージを強化する。

優先事項 3 「参加者の積極的なかかわりを促す」の目標

8. テクノロジーを生かすことを強調し、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブ、ロータリークラブの会員、その他のロータリー参加者の積極的なかかわりを促す。
9. すべての参加者、特にロータリークラブとローターアクトクラブの間の協力を増やす。

10. 中核的価値観を積極的参加の中心に据える。
11. ロータリー参加者間のビジネスのためのネットワークの機会を通じ、積極的参加を向上させる。

優先事項 4「適応力を高める」の目標

12. 直接会う会合、研修、ファンレイジング、奉仕プロジェクトを最適化するため、バーチャル技術の使用を支援・奨励する。
13. ボランティアのリーダーシップ構成を見直し、責務とアカウントビリティを向上させる。
14. ガバナンスとサービスの提供における地域化を支援する。

国際ロータリー第 2820 地区 2021-2022 年度スローガン・地区目標

【地区スローガン】

“Think Globally, Act Locally”

地球の未来を思い 地域社会に貢献しましょう

【地区目標】

2820 地区の持続可能な発展に資する奉仕活動の推進

【具体的行動指針】

- 1、ロータリーの新しい重点分野「環境の保全」の推進
 - * クラブの環境保全活動を支援
 - * 地球環境問題の理解を深める機会の提供
 - * “ロータリー奉仕デー”に地球環境改善活動を実施
- 2、クラブをサポートする持続可能な地区運営体制の強化
 - * 地区ビジョン・行動計画のアップデート
 - * 会員増強・新クラブ設立・学友会の支援 (DEI 声明の推進)
 - * 持続可能な地区委員会の編成
 - * リモート会議システムの構築によるロータリーイノベーションの加速
- 3、質の高い奉仕活動の推進
 - * クラブセントラル活用を促進し RI 会長賞受賞を支援 - クラブ奉仕
 - * ロータリーを学び互いに成長する機会の提供 - 職業奉仕
 - * 持続可能な開発目標 (SDGs) に貢献する奉仕活動の推進 - 社会奉仕

- * 友好地区との協働による人間開発の推進 - 国際奉仕
- * 青少年への支援を推進 (IAC・RAC・RYLA・EX) - 青少年奉仕

4、公共イメージの向上

- * 地区ホームページ、茨城新聞ロータリー情報館、SNS、他メディアによる発信
- * 2820 地区ロータリーカーに乗って全クラブ訪問 10000 キロ走破 !!
- * 奉仕活動の学術的発信 (国連・学会・ジャーナル)

5、ロータリー財団の活用と支援

- * 地区補助金を活用した地域社会への貢献
- * グローバル補助金を活用した国際社会への貢献
- * 奨学生の支援
- * ポリオ根絶活動の推進
- * 公平性の高い財団寄付の推進 (年次寄付 130 ドル・ポリオ 20 ドルの達成、ベネファクター - クラブ 1 名・PHF・PHS - 地区 70 名・MD・AKS の推進)

6、米山記念奨学会の支援

- * (公財)米山記念奨学会委託事業を通じた 2820 地区内で学ぶ留学生の支援
- * 米山寄付の推進 (一人 25000 円以上 = 普通寄付 5000 円 + 特別寄付 20000 円)

7、ヒューストンに行こう！

2022 年 6 月ロータリー国際大会がヒューストンで開催されます。

宇宙に繋がる紺碧の空が皆さんを待っています！！

* 国際大会開催予定

2022 年 6 月 4 日～ 8 日：ヒューストン (米国)

2023 年 5 月 27 日～ 31 日：メルボルン (オーストラリア)

2024 年 6 月 8 日～ 12 日：シンガポール

2025 年 6 月 21 日～ 25 日：カルガリー (カナダ)

2026 年 未定

2027 年 6 月 5 日～ 9 日：ハワイ (米国)

【地区目標】

2820地区の持続可能な発展に資する奉仕活動の推進

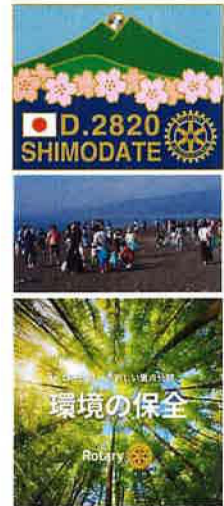
【具体的行動指針】

1 ロータリーの新しい重点分野「環境の保全」の推進

- * クラブの環境保全活動を支援
- * 地球環境問題の理解を深める機会の提供
- * **“ロータリー奉仕デー”** に地球環境保全活動を実施

2 クラブをサポートする持続可能な地区運営体制の強化

- * 地区ビジョン・行動計画のアップデート
- * 会員増強（**地区2000名**の回復・各クラブ**2名**の純増）
- ・新クラブ設立・学友会の支援（**DEI声明**の推進）
- * **持続可能な地区委員会**の編成
- * リモート会議システムの構築によるロータリーイノベーションの加速



3 質の高い奉仕活動の推進

- * **クラブセントラル活用**を促進しRI会長賞受賞を支援・クラブ奉仕
- * ロータリーを学び**互いに成長する**機会の提供・職業奉仕
- * 持続可能な開発目標（**SDGs**）の達成に貢献する奉仕活動の推進・社会奉仕
- * **友好地区との協働**による人間開発（教育・保健・生活）の推進・国際奉仕
- * 青少年への支援を推進（IAC・**RAC**・RYLA・EX）・青少年奉仕



4 公共イメージの向上

- * 地区ホームページ、茨城新聞ロータリー情報館、SNS、等 **各種メディアによる発信**
- * **2820地区ロータリービークル**で
全クラブ訪問10000キロ走破！！
- * 奉仕活動の学術的発信（国連・学会・**ジャーナル**）



5 ロータリー財団の活用と支援

- * **ポリオ根絶**活動の推進 (ロータリー章典 40.010.)
- * **地区補助金**を活用した地域社会への貢献
- * **グローバル補助金**を活用した国際社会への貢献
- * **奨学生の支援** (GG奨学金・冠名基金・平和フェローシップ)
- * 公平性の高い財団寄付の推進 (年次寄付130ドル・ポリオ20ドルの達成、
ベネファクター各クラブ1名・PHF・**PHS70名**・MD・AKSの推進)



6 米山記念奨学会の支援

- * (公財) 米山記念奨学会委託事業を通じた2820地区内で学ぶ**留学生の支援**
- * 米山寄付の推進 (一人25000円以上=普通寄付5000円+特別寄付20000円)

11

7 ヒューストンに行こう！

- 2022年6月ロータリー国際大会がヒューストンで開催されます。

宇宙に繋がる紺碧の空が
皆さんをお待ちして
おります！！

国際大会開催予定
2022ヒューストン
2027ハワイ決定！

